

平成22年度

学校自己評価表（報告）

学校運営計画				
学校運営方針	米百俵の精神に基づき、人格高潔で人間的魅力に富む将来有為の人材の育成に努める。そのため、生徒の学校生活の充実を図るとともに、生徒一人一人が真に入りたい大学・学部合格できるよう支援、指導する。			
昨年度の成果と課題	年度の重点目標	具体的目標		
<p>○生徒の意識の高まりによって、国公立、難関大への志願者が増加する傾向にあり、第一志望合格を目指す進路指導の充実が課題である。</p> <p>○理数科の各コースにおいて、進路希望実現に向けた意識啓発と学習支援体制構築に、全職員が協力して取り組むことが必要である。</p> <p>○知育・徳育・体育のバランス、文武両道の意義について、全職員の共通理解を図り、組織的かつ継続的に生徒を指導することが必要である。</p> <p>○校務が一層円滑に運営できるようにするため、組織内の連携や文書の共有化などを、さらに推進することが求められる。</p>	学習指導に対する生徒・保護者の信頼の確立	90%以上の生徒が授業に満足する 年間自習時間0時間		
	第一志望合格を目指す進路指導の充実	大学等進学率80%、 国公立大学合格率50%を目指す 医学部医学科合格者18人		
	全職員の共通理解による生徒指導の充実	担任による面談(年3回)を通しての日常生活の点検及び職員間の情報共有を行う あいさつの励行 中途退学者0人、いじめ0件、 問題行動0件		
	「剛健質樸」「豪爽快活」を旨とする生徒の個性、能力の伸長	部活動を奨励し、学校行事を充実させる 全国大会出場、全国レベルの表彰10以上を目指す。		
	開かれた学校づくりの推進	地域と連携した理数科周知の取組を実施する。 地域に信頼される学校づくり オープンキャンパスなどの学校視察者、 年間1000人を目指す。		
重点目標	具体的目標	具体的方策	評価	
学習指導に対する生徒・保護者の信頼の確立	90%以上の生徒が授業に満足する	国語力の育成 ○国語及び日本文化の特質に着目し、その理解に資する能力の育成を心がける。	A	A
		基礎基本の徹底 ○現代文・古文・漢文の各分野において、ジャンルに偏りなく文章を読み込む。	A	
		地歴公民 教える側・学ぶ側ともに充実できる授業を目指す。 ○資料(史料)の活用や時事的な問題の紹介、自己の生き方・在り方についての考察などを通して、興味・関心を喚起させる授業を行い、社会事象の認識と公民的資質の向上に努める。	A	
		授業技術の向上に努める ○生徒による授業評価等を授業の工夫・改善に反映させる。	A	
		数 基礎学力の向上・学習習慣の形成 ○授業内容を一層充実させる。分かりやすい授業を心がけ、基礎基本の定着を図るとともに、発展的な内容も積極的に取り入れ、より高いレベルの学力の充実も目指す。 ○週末課題により基礎学力の定着を徹底させ、土日の学習の充実と家庭学習の定着を図る。	A	
学	授業技術の向上 ○生徒の授業評価及び教員相互の授業見学の機会を増やし、授業の改善に取り組む。	B		

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価
		<p>さまざまな教材を活用し、理解しやすい授業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指導内容や方法を教員間で綿密に打ち合わせ、連携を密にする。 ○プロジェクターやPC等の情報機器を授業に活用する。 ○パソコンセンサーやさまざまな理科ソフト、実験器具などを有効に活用する。 ○さまざまな自然現象や先端科学を授業で紹介し、理科に興味関心を持たせる。 	A
		<p>実験や観察を通じ、物事を科学的な目で見て分析し理解する能力を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実験・観察・演示をできるだけ多く取り入れる。 ○実験・観察では、生徒にレポートの提出を課し、適切な評価に努める。 ○理数理科探究では、高大連携・研修旅行・課題研究・発表会等を通じ、生徒の科学的視野を養う。 ○理数科委員会と連携し、理数科の事業の運営に携わり、継続、発展させる。 	A
		<p>基礎体力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校体操を正確な動作で行うことと、6種類の補強運動の実施により向上させる。 ○体力テスト実施により体力を客観的に把握させ、体力向上の意識を高めさせる。 	A
		<p>各領域の技能の習得と向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1学期に基礎領域の器械・陸上・水泳を実施することにより、運動の基礎技能を習得させる。 ○2・3学期には選択授業の展開により、各種目のより高い技術の習得と自主的に運動に取り組む姿勢・態度を養う。 	A
		<p>安全を含めた活動時の適切な礼儀・態度・習慣を習得させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安全に対する視点を各種目の中で常に指導し、安全に対する態度を喚起することにより、自らと全体の安全に対する態度・習慣を養う。 ○グループ活動を通し、協力により大きな力が発揮できることを習得させる。 ○競技やゲームの勝敗を通し、公正さや相手に対する思いやりを養う。 	A
		<p>健康安全に対する理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保健の授業を通して、心と体の健康と安全、環境保全に対する知識と関心を深め、生涯にわたる健康づくりの基礎を習得させる。 	A
		<p>授業技術の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教員相互の評価・研修により、指導技術の向上を図る。また、生徒による授業評価等を実施し、技能習得につながる指導法の改善を行う。 	A

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
		豊かな感性の育成 ○優れた芸術作品に触れその良さを味わうことにより、感情を豊かにさせる。	A		
		芸 自己表現の楽しさの体得 ○実践を通して自己が現れることを理解させ、その喜びを体得させる。	A		
		個性を尊重する心情の育成 ○個々の作品の鑑賞会を体験させ、他の作品に漂う心を感じ取る機会を設ける。	B		
		術 授業技術の向上 ○生徒による授業評価をもとに、授業をよりニーズにあった工夫・改善をする。	A		
		芸術系進学希望者の進路実現 ○専門的な進学指導を通して、生徒の進路実現を具体化させる。	A		
		英語 授業の充実 ○授業公開、授業アンケートを実施し、授業の工夫と改善に努める。 ○新学習指導要領に基づいてカリキュラムを検討する。	A		
		家 自立した生活者をめざし、基礎的・基本的な知識・技術を習得させる。 ○体験学習を重視し、実験・実習をできるだけ取り入れる。 ○学習を生かして、身のまわりの生活課題を見つけ、改善していく力を養う。	A		
		庭 コミュニケーション能力の育成に努める。 ○実習やグループ学習で他者と協力してひとつのものを作り上げていく過程で、他者に対する思いやりや協調性を育てる。	B		
		授業技術の向上に努める。 ○生徒による授業評価等を実施し、授業の工夫や改善を図る。	A		
		教務 新学習指導要領への対応 ○平成24年度教育課程の編成に向けて検討作業を進める。 ○新学習指導要領総則の先行実施に伴う各種指導計画をとりまとめる。	A		
		保健 衛生的で快適な学習環境づくりに努める。	A		
		年間自習時間 0時間	教務		
第一志望合格を目指す進路指導の充実	大学等進学率80%、国公立大学合格率50%を目指す。 医学部医学科合格者18人	国 各学年の段階に応じた、基礎学力の再確認と実践力の養成 ○叙述に即時的確に読みとり、要約できる力をつけさせる。 ○文語のきまり、訓読のきまりを理解させる。 ○自学自習の習慣をさらに徹底させる。 ○基礎力の強化と応用力の養成に努める。 ○進路実現を最大の目標とし、基礎力完成と実践力養成に努める。 ○抽象的語彙の定着、論理的な文章の読み、記述力の養成に努める。 語 ○文法・語彙等の完成を図り、初見の文書を読み取る能力と力を養う。 ○入試頻出の語彙・句形の徹底を図り、多読を目指す。	A	A	A

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価
	地歴・公民	「希望進路」に対応できる学力を養成する。 ○1, 2年の授業で、基礎力の涵養と充実に努める。 ○3年の授業や補習では、問題解決能力・表現力の育成に努め、難関大学入試にも対応できるような総合的・応用的な能力の養成を目指す。	A
	数	入試問題に対応できる実践力の養成 ○考查間に課題考查を実施し、基本事項の定着を図る。 ○放課後及び長期休業中に補習を実施し、基礎学力の向上を図るとともに、より高いレベルの入試問題に即した実践力を養成する。 ○指導を工夫し、文系の生徒の学力の向上を図る。	A
	学	指導計画の充実 ○土曜講習や補習、課題と授業をうまく関連させ効果的な指導ができるように計画する。	A
	理	大学入試に対応できる学力を継続的に養成する。 ○授業において多くの問題演習を取り入れ、必要に応じて課題を与える。 ○放課後や長期休業中の講習の実施 ○模擬試験の過去問題演習の実施	A
	科	新カリキュラムについて検討する。 ○新カリキュラムを研究し、理系や理数科の特色を出せるカリキュラムを検討する。	A
	英	センター試験での高得点（全国平均+20点以上） ○各種課題をとおして、基礎学力をつける。 ・週末課題 ・授業時の小テスト ・模試の過去問題演習 ・長期休業中課題 ・自学用課題 ・センター対策用の特編	A
	語	平成23年度リスニングテストへの対応 ○テストの形式に慣れる。 ・定期考査でのリスニング出題 ・授業時の口頭英語の積極的使用 ・リスニング教材の継続的利用	A
	1学年	高い学力を身につけさせる。 ○入学時オリエンテーションにより、授業重視・家庭学習の習慣を確立させる。 ○集中力を高め、日々の授業と家庭学習を大切にし、学習習慣の確立を図る。 ○週末課題、模試への積極的参加により、学力の向上を図る。	A

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価
		<p>進路意識を高め、基礎学力を充実させ、応用力を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大学・学部・学科研究などを通して進路志望を早期に具体化させ、学習への主体的な取り組みを促す。 ○小論文指導を行い、自己表現力の向上と自己を見つめ直す機会とする。 ○授業と予習・復習を基本とした学習習慣を確立させ、さらに週末課題、土曜講習、夏期集中学習を実施することで学力向上を図る。 ○全員受験模試（5回）、希望者模試（2回）、外部講師による進学講演会等を実施する。 	A
		<p>進路志望達成のための学力向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平常時の授業を充実させる。 ○土曜日と放課後の講習を実施し、学力を定着させる。 ○模擬試験（全員受験8回）と小論文指導を実施する。 ○3学期の特別編成授業で、最後まで努力を継続させる。 ○進学講演会を随時実施する。（全体対象・志望別） 	A
		<p>効果的学習指導に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科指導上の要望を十分に受け入れながら、バランスのとれた時間割を編成する。 ○主体的学習および家庭学習の定着と向上を図るべく、学年、教科、他分掌と協力して具体策を探る。 	A
		<p>生徒の自己実現のための進路意識の啓発と適切な指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学年との連携を密にし。総合的な学習の時間、LHRや学年集会、各種たよりなどを通じて3年間を見通した一貫性のある指導と生徒の現状把握に基づく的確な支援指導を行う。 ○先を見通した計画的な取り組みを生徒自身に行わせるための情報提供や指導を行う。 ○低学年からのオープンキャンパスや学校見学を奨励し、志望校検討の多面的充実を促す。 ○「入りたい大学」合格の実現率を高めるため、個別試験指導の体制充実を図る。 	A
		<p>保護者の進路意識を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種たよりを通じて保護者向け進路情報を適宜流す。 ○保護者会における進路指導内容の充実を図る。 	B
		<p>1学年では、特別実験、高大連携講座、科学講演会、医療講演会、病院見学などを通して、科学技術や医療に対する知見を広め、メディカルとサイエンスのコース選択のための進路意識を明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療講演会5回、科学講演会2回を企画・実施し、科学と医療に関する啓発活動を充実させ、進路選択に向けた高い動機付けを行う。 ○病院見学及び長岡技術科学大学との高大連携講座を通じて、医療現場、科学と科学技術の先端分野への知見を広め、その中から特に興味・関心・好奇心をもつ分野を見いだしていく。 ○SSHで購入した機器などを用いた理数特別実験を通して、科学に対する興味・意欲・関心を高める。 	A

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
		理科 「質実剛健」の校風のもと、たくましい秀才を育て、将来、医療に貢献する人材を育成するため、医療に従事する使命感と倫理観を養う。 ○地域の医師などによる医療講演会、特別実験や夏期研修を通して、医療に従事する使命感、倫理観を養い、医療系進学のためのモチベーションを高める。 ○進路希望実現を目指した授業の実施と具体的な学習支援体制を構築する。	A		
全職員の共通理解による生徒指導の充実	担任による面談（年3回）を通しての日常生活の点検及び職員間の情報共有を行う	3年 適宜面談を実施し、（年3回以上）生徒の実態把握に努める。 学年集会を年間3回以上実施する。	A	A	A
		進路指導 職員に対する進路情報の共有化を図り、進路指導に対する共通認識を持って、組織的、継続的に生徒の指導にあたる。 ○情報の共有化と生徒への指導に役立てるため、進路指導分析会の一層の充実を図る。 ○模擬試験分析資料を適宜提供し、生徒の実態の把握と教科指導についての職員間の共通認識をもつ。 ○各学年の「進路だより」を全職員に配付することにより、学年の進路指導の状況を職員が把握できるようにする。	A		
		1年2年 あいさつ・清掃を励行するとともに、時間や規則を遵守する。	B	B	
中途退学者0人、いじめ0件、問題行動0件	生徒指導	生徒 規律ある生活習慣の形成と生徒の規範意識の向上 ○装飾品や行き過ぎた頭髪・服装に対して日常的に指導を行う。 ○遅刻や校外への無断外出を防止すべく校門指導を行う。 ○携帯電話のマナーについて日常的に指導を行う。 ○インターネット、ブログに関するトラブルを防止するため意識啓発を行う。	A	A	
		指導 生徒が安心して日常生活を送ることができる環境整備 ○校内における金品の盗難を防止するため、日常的に校内巡視を行うほか、貴重品や私物の管理について注意喚起を継続的に行う。 ○生徒の問題行動に対し保健環境部(教育相談)と連携して取り組む。	B		
「剛健質樸」「豪爽快活」を旨とする生徒の個性、能力の伸長	部活動を奨励し、学校行事を充実させる。全国大会出場、全国レベルの表彰10以上を目指す。	1学年 長高生としての自覚を持つ。 ○入学時オリエンテーションにより、早期に本校について理解し、自覚を持つ。 ○課外活動にも積極的に参加し、学業との両立を図る。 ○自己と集団との関わり合いの中で、自己の考えを深める。	A	A	A
		2学年 長高の伝統を継承するリーダーとしての自覚を養う。 ○集団との関わり合いの中で、自己の考えを深め、上級生としての自覚を持って自律した行動ができる。 ○和同会行事の積極的な運営と参加を促すとともに、和同会のリーダーを育成する。 ○課外活動にも積極的に参加し、学業との両立を図る。	A		

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価			
		3 学 年	学習と部活動を中心に、リズム感のある生活をさせる。 ○部活動の意欲的な取り組みを奨励する。 ○部活動をしている者には、毎日の学習時間を確保させ、6月以降の学習への態勢作りを行う。	A		
		年	3年生としての後輩への指導力を育成する。 ○文武両道の長高の伝統を継承し後輩の範となる。 ○体育祭などの学校行事で指導力を発揮し成功させる。	A		
		化 情 報	部活動を活性化するため、研修会等の行事で、より多くの保護者の協力を募る。	B		
		和 同 会	生徒による自治活動の活性化を図るため、適切な助言を行う。 ○生徒会執行部と教員の連絡を密にし、生徒会活動の活性化を促し、円滑な生徒会活動が展開できるようにする。 ○生徒会執行部に、1, 2年生の人員を充実させ、来年度に向けての円滑な引き継ぎを図る。 ○和同会指導部内の連携を一層強化し、生徒の自主・自立的な活動ができるような環境をつくる。	A		
		指 導	予算の適性配分と執行を行う。 ○学級減にともない生徒会予算も収入減となることから、緊縮された予算でも円滑な生徒会活動ができるような対策を考える。 ○生徒会予算の執行がスムーズに行われるような方策を考え、実行する。	A		
			学年と連携し、学校行事の活性化を図る。 ○LHRの活用にあたり、年間計画作成の際に、学年との連絡を密にする。 ○各実行委員会とクラスの連携を図り、円滑な行事の運営を図る。	A		
開かれた 学校づく りの推進	地域と連携した 理数科周知の取 組を実施する。 オープンキャンパスな ど学校視察者年 間千人を目指す	理	中学校の総合学習などにおける学校説明や通常の学校説明会などに管理職だけでなく教諭も積極的に参加して理数科の活動の紹介に努める。	A	A	A
		数	長岡、柏崎、三条、魚沼の各地域に出向き、長岡高校理数科に興味のある中学生及び保護者を対象とした理数科説明会を開く。	A		
		科	理数科への進学希望者を対象とした体験授業(模擬授業)を実施。	A		
	地 域 に 信 頼 さ れ る 学 校 づ く り	文	個人情報管理を強化する。 ○親師会名簿について、LAN上の作成シートも含め、管理・破棄段階での個人情報保護の強化を図る。 ○親師会名簿の配付先を検討する。 ○緊急連絡網の様式は、管理・破棄方法についての説明のあるものを使用する。	A	A	A
		化	広報活動を活性化させる。 ○教務と情報が連携し、行事予定をホームページに掲載する。 ○「親師会たより」の原稿を保護者から募るとともに、保護者も編集過程に主体的に関わるような作業計画を立てる。	A		
		情 報	親師会地区役員会の組織づくりを進めるため、親師会役員、評議員と協力し、1学年、2学年の評議員を中心に組織作りを進める。	A		
成果		学校自己評価や授業評価の実施によって、指導内容・指導方法の改善や職員の協力体制が強化され、学校の活性化につながった。 個々の職員が学校全体の重点目標を意識して担当業務に取り組むことにより、職員集団の意欲や活力が向上した。	総合評価 A			